

平成28年新年交換会が開かれました。

和歌山木材協同組合では、恒例の新年交換会を平成28年1月15日に木材会館において開催しました。当日は、仁坂和歌山県知事、尾花和歌山市長、岸本衆議院議員、門衆議院議員をはじめ、多数の来賓を招いき、組合員ともども新年を寿ぎました。

宮本理事長のあいさつの後、仁坂知事、尾花市長、岸本議員、門議員よりお祝いの言葉をいただきました。宮本理事長は、「これからは住宅から非住宅へと需要が変わる中で提案型によるニーズの創造を目指さねばならない。また、組合は、その在り方について将来に向かって青写真を描かねばならない。」と話し、仁坂県知事は、「変革の時はチャンスの中でもあり、昨年はそのことを言い続けそのチャンスを逃さないよう仕組みづくりを行ってきた。今年は創業のための仕組みづくりに力を入れていきたい。」と話されました。尾花和歌山市長は、「和歌山市には中央図書館、市民会館、中央市場の建て替え、そして加太青少年の家の手直しなど目白押しのプロジェクトがある。その中で木造化できるものは木の国和歌山として紀州材を大いに使っていきたい。」、岸本議員はキッシンジャーの本の紹介から、また門議員は、和歌山市にとって観光資源の一つが和歌山城、それを木造化することの意義、を述べられていました。

あいさつの後、祝電や祝儀の披露を行い、中谷組合顧問の発声で乾杯を行い祝宴が始まり、参加した組合員は来賓として来ていただきました県や市の幹部の方々、また建築家の広谷さんなどと懇親を深めていました。そして、約1時間半の懇親の最後に山本副理事長の閉会のあいさつで新年交換会を閉じました。



開会のあいさつをする宮本理事長。横に並ぶのは副理事長5人。



乾杯をする中谷顧問



懇談中



閉会のあいさつをする山本副理事長